

2024年10月「助産師外来」スタート！ 開設に寄せて

平素より当クリニックをご利用いただき、ありがとうございます。

社会全体として、コロナ禍の影響も相まってか、出産数の減少の流れは止まりません。至る所に子ども達の笑い声が聞こえ、子ども達を見守る母親や父親に笑顔がこぼれ、世の中が活気に満ちあふれる、そんな明るい未来は描きづらい状況にあります。

さて、皆さまの周りには、いつでも気兼ねなく、妊娠や出産、育児に関して相談できる方はいらっしゃいますか？スマホで検索すれば、立ちどころに正確無比とも思えるような解答は一応得られますね。しかし、果たしてそれは刹那的な不安からの逃避以上のものをもたらしてくれているのでしょうか？

私たちは、一次医療施設として、皆さまにどのような周産期医療とサービスのご提供が可能なのか日々模索しています。開院以来、助産師が主体となり続けている、妊産褥婦とそのご家族の意向を尊重した、分娩から産褥1ヵ月までのケアのご提供もその一例です。至らぬ点も多くありましたが、改善を重ね、現在では一定のご評価をいただけているのではないかと自負しております。

そのような助産師たちの経験値をもとにし、開設するのが当クリニックの「助産師外来」です。妊娠中の生活に関するお悩み、出産時のご不安、産後の生活や育児などについて、どんな些細なことでも躊躇なく、ゆったりとした時間の中で相談ができる場です。

妊婦さまお一人おひとりが主体性を持ってお産に臨めるよう、そして正しい知識に基づいてご自身の望む形の育児が行えるよう、助産師が医師と連携しながら全力で皆さまをサポートさせていただきます。

つきましては、本年4月より「助産師外来」本稼働への移行期間として、日曜日の診療を妊娠28～35週の妊婦さまを対象とした妊婦健診専門外来とさせていただきます。移行期間中は、医師・助産師・超音波検査技師がランダムに健診を担当させていただきます。本稼働への体制作りと助産師のさらなる育成に取り組めます。

そのようなことから、これまで以上に日曜日の予約が取りづらくなることが予想されますが、どうぞご理解いただければ幸いです。

何とぞよろしく願いいたします。

産科・婦人科 ミナミクリニック
院長 南 宏次郎